

知ってほしい!

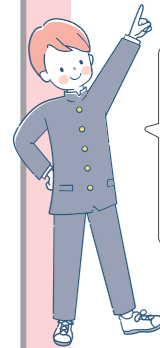
先生の魅力!

輝く紀の国の先生のホンネ

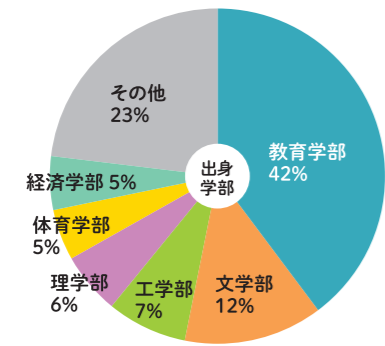
学校の先生になりたい! あの先生が好きだった! そう思ったことはありませんか? 将来どんな仕事に就こうか悩んでいる方や、先生になりたいけど実際どうなの?と思われる方も多いのではないのでしょうか。そこで、今回の特集では、和歌山の子ども達のために、毎日全力投球している先生の姿をアンケート結果をもとに紹介し、先生という仕事の魅力に迫ります!

※調査は、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員225名(20代~60代)に「教員の魅力発信に関するアンケート」を実施

Q. 先生ってどんな勉強をしてきたの?



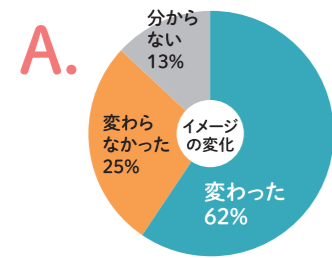
教育学部出身ばかりじゃないんだね



「教員免許のないあなたも教壇に立てるチャンスが!」
教育学部出身者ばかりではなく、専門的な知識を身につけた後で教員になる方もいます。特別選考(※)などの制度もあり、社会人になってから再び先生をめざすことも可能です!

※特別選考…一般選考とは別に、芸術、スポーツ、社会人経験、博士号課程取得者等、教員免許状を所有しない人でも受験できる制度。

Q. 先生になる前と後でイメージは変わりましたか?



「変わった」と回答した人のうち、「授業以外の仕事が多い」という声が63%も…。

- 子ども目線で見えない行事の裏側では、綿密に準備していたことに驚いた。(20代・中学校)
- 学習指導や担任業務、クラブ活動だけでなく、実際には、会議、生徒指導、保護者対応、校務分掌、学校外(地域)との連携など多岐にわたる業務を担当するので、放課後等に生徒に関わる時間が持てないことに驚いた。(50代・高等学校)
- やりがいは確かにあるが、教える以外の雑務が多すぎる!そして人員が不足しすぎていると実感するようになりました。一生懸命子どもたちのために教えたいのに、それ以外のところに時間を取られてしまって本末転倒だ…と感じることが多々あります。(20代・小学校)

voice

3年目頃までは大変でした。教員になる前は、授業をして部活動を担当する仕事をイメージしていましたが、他にも自分だけでは完結しない業務など、特殊で多岐にわたる仕事内容に驚きました。でも、悩みを共有できる環境があることで助けられています。もっと教員数が増え、誰が担当を持っても運営できる体制になればいいと思います。

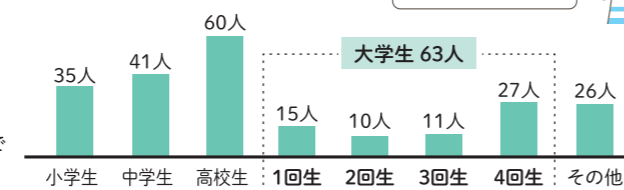
県立向陽高等学校 佐治 晃一 先生



Q. 先生をめざしたきっかけは?

- 1位 ●尊敬する教員に出会ったから(23%)
- 2位 ●子どもが好きだから、教えることが好きだから(17%)
- 3位 ●部活動の指導をしたいから(10%)

Q. 先生を志した学年は?



大学生になってから進路を決めた人も結構いるんだね



もちろんポジティブな方向に変わったという意見も…!

- 先生というなんだか固いイメージでしたが、それぞれの先生が自分らしさを出しながら、先生同士助け合って柔らかい雰囲気で作ることができる。(30代・小学校)
- 目指していたころよりも、もっと『やりがいと責任』があると強く感じました。(30代・高等学校)
- 学生の頃は先生と関わっていなかったのが、「校則に厳しい」とか「悪いことをしたら叱られる」というどちらかというマイナスなイメージでした。自分になってみると、周りの先生みんなが生徒のことを一生懸命考えて指導、支援しているので、学校自体が好きになりました。(30代・高等学校)



Q. 先生の仕事に魅力・やりがいを感じていますか?

A. 82%が「感じている」と回答

大変なこともたくさんあるけど…多くの人がやりがいを感じています!

- 子どもたちは、とっても可愛いし、こんなに毎日笑い、心揺さぶられる仕事はないと思います。(30代・小学校)
- 最近ではICT活用が広まり、今までの業務をより効果的に効率的に行うことができるようになってきている。ICTを活用して自分の工夫や目論見が予想通りに進むと達成感があり、学校の一員として組織に関わることができていると実感し、やりがいを感じます。(30代・高等学校)
- 授業をしても、何をしても、これほど「ありがとう」と人に言われたり、人に言ったりする仕事はあまり無いと思います。耳から入る「ありがとう」のおかげで、元気に明るく仕事ができます。(50代・小学校)
- 授業や部活動などで、コツコツ取り組んできたことが実を結んだと実感できたときにやりがいを感じる。努力は喜びを生む。そう感じさせてくれるところが、教育の醍醐味であると思う。(50代・中学校)

voice

教員の魅力は人と人との「つながり」が感じられるところ。つながりがあるからこそ生まれるいろいろな感情に出会い、子どもはもちろん自分自身も日々成長しています。また、子どもが変われば授業づくりや学級運営も変わるので、奥深く、面白い部分であり、常に学び続ける仕事ですが、ほかの仕事にはない魅力があります。子どもたちの人生の一部分を共に過ごせることに幸せを感じています。

和歌山市立西和佐小学校 松尾 麻喜 先生



Q. 職場(職員室)の環境・雰囲気は良いですか?

A. 73%が「良い」と回答

「気軽に話ができる雰囲気」という意見が多くありました!

- チームとしてのフットワークの軽さを感じる。(40代・特別支援学校)
- 若手の意見にもみなさんが耳を傾け、議論してくれる。(20代・高等学校)
- 病休などへの補充対応や時間割変更などの教員も快く対応しているところ。(50代・小学校)

voice

皆で子どもを育てるという意識で同じゴールに向かってるので、悩みを共有でき共感してくれる環境があることは、とても良いです。いろいろなタイプの先生がいるので、それぞれの得意な分野でカバーし合い助け合っていると感じます。忙しいことや、大変なこともあります。人の成長、人生に関わるやりがいのある仕事です。

県立向陽中学校 中井 萌 先生



★プライベートを充実させるための工夫は?

- 児童生徒の関心のある出来事の話聞き、自分も体験してみようと計画を立てることで。その体験が子どもとの会話につながります。(40代・特別支援学校)
- 旅行や自然を楽しむことが好きなので、自分が行きたいところ、授業で見た風景などを普段からリストに載せて、行くならどうやっていこうかを、調べるなどして、時間ができた時に行くようにしています。(20代・中学校)
- 家族と過ごす時間を大切にするために、家に仕事は持ち込まない。(20代・高等学校)
- 仕事のことは考えず、今日は遊ぶ!と切り替える。(40代・小学校)
- 年休を計画的に取る。(30代・中学校)

「趣味を持つことが大事」「休みの日は仕事を考えない」という声がたくさんありました!!

初めて教壇に立った日の思い出

「とにかく緊張して何も覚えていない」という先生がほとんど!

- 「新しい先生だ!」「若い先生だ!」30人の子どもの期待の目が一気に集まり圧倒されました。(30代・小学校)
- なめられないよう、少し厳しい顔つきで、細かいことを指導したのを覚えています。(40代・小学校)

- 子どもたちの真っすぐ自分を見る目に緊張と責任を感じた。(30代・中学校)

子どもに言われてうれしかった言葉

- 「ありがとう」「大好き」
- 「将来、先生と一緒に働きたい」
- 「先生がいなかったら今の自分はありません」
- 「大人になったら一緒にお酒を飲もう」
- 「また担任してほしい、授業が分かりやすい」

じ〜ん

